

より多くのなかまを職場で迎えよう

2021年10月5日号
第221号

毎月2回5日・20日発行

東京都千代田区霞ヶ関2の1の3 国土交通労働組合
電話(03)3580-4244 F A X (03)3593-0359
URL : https://kokkoroso.or.jp/
発行者：山崎 正人
1部20円(組合員の購読料は組合費に含む)



2021年10月5日 国交労組 第221号 (通巻1377号) 昭和37年12月3日 第三種郵便物認可

国交労組

ともに考え、ともにくみ、組織を立て直し、さらなる飛躍をめざそう

第11回定期大会において、国土交通労組の組織率が危機的な状況であることとをふまえ、「組織を立て直し、さらなる飛躍をめざすため、国土交通労働組合組織拡大強化3か年計画(以下、3か年計画)」の方針を決定しました。3か年計画では、先進的な活動をしている組織については、その経験を組織全体に広げるとともに、力量の低下が著しい組織においては、活動を着実に立て直すこととし、最終年度までにすべての支部・分会において、日常活動をつうじた組織再生の道筋をたてるほか、自主・自覚をもって加入拡大のとりくみを展開することとしています。すべてのなかまが力をあわせて国土交通労組の組織再生をめざしましょう!

職場での多くの悩み の解決にむけ、 いまこそ労働組合の 役割発揮を

これまで、国土交通省で働く全国の職場では、多くのなかまが国土交通労組に結集して、職場課題についてとりくんできました。しかし、近年は国土交通労組の組織率が低下し、分会活動が停滞した結果、職場での労働組合の運動が見えづらくなり、その結果、脱退者を生むという負のスパイラルに陥っています。

しかし、職場で働くなかまの要求はなくなつたのでしょうか? また、職場のなかまは悩みを持っていないのでしょうか? 長時間労働やハラスメン

トなどの声は以前にも増して聞こえており、心身の不調を訴えたり、様々な理由で職場を辞したり職場で働くなかまの悩みはなくなるどころか増加傾向にあります。つまり、労働組合の役割は薄らいでおらず逆に、今までも増して労働組合に求められるものは多くなっています。すべての労働者が安心して働き続けられるためには、労働組合の組織の再生は喫緊の課題です。

各支部の実態にあわせた組織拡大行動をとりにくむ

これまで国土交通労働組合、組織拡大計画をもとにしたとりくみを実施してきました。ただ、これま

での組織拡大計画は、本部からの画一的なとりくみを、本部からの掛け声のもと、とりくまれたものでした。その結果、支部実態にあわなとりくみとなり、実効性に乏しい結果に終わっています。

これからとりくむ「3か年計画」においては、実際に未加入者と接する支部や分会が主役となつて主体的なとりくみをすすめていきます。

各支部や分会が抽出した課題・弱点のなかで、支部や分会の現状とあわせて「今、とりくむべき課題」また、「とりくむことができる課題」を選んでみましょう。そして、選んだ課題について、確実に実施してみましょう。

STEP1
STEP2

組織拡大強化3か年計画

～支部におけるとりくみの事例～

うちの支部では、まずは支部独自の機関紙作成からはじめよう



うちの支部は分会の立て直しにむけてまずは、支部オルグをの開催しよう



我が支部では、役員選出に課題があるので、次世代育成に力点を置いたとりくみをやろう



実施状況をふまえ、先進的な支部があれば、モデル支部として選定し、そのとりくみを全国に広めていきたいと考えています。

本部も支部と連携して全力でとりくみます
「3か年計画」は、組織の力量や役員体制、職場の課題、重点としてとりくむ内容も一律ではないため、実施にあたっては、支部・分会が主人公になって主体的にとりくむこととしています。本部も、支部との連携を強化し、ともに実施にむけてとりくんでいきます。

本部は、支部とWeb会議(ステップアップミーティング)を定期的に行い、とりくみにあつた事例を共有するなど、支部の支援にとりくむことを予定しています。

また、宣伝物や資料、パンフレットの作成、また、本部オルグ(Web)を含めてについても、積極的に対応していきます。

今後について
10月16日に開催する拡大支部代表者会議において、「3か年計画」について議論を行います。特に、各支部・分会で抽出した課題や弱点、独自のとりくみ計画を共有すること、新たなとりくみにつながる議論が行われることを期待しています。